

人文研紀要

第25号～第26号(1996年)

◆第25号—1996年(1996年9月発行 A5版248頁)

Robert Burnsの墓碑銘	岡地 嶺
ハーディの詩法: そのモノローグについての覚え書き	森松 健介
ブレイクと『エルサレム』	土屋 繁子
ヘミングウェイの『ミシガンの北で』 —ジムは誰をレイプしたのか—	武藤 脩二
日本語教育の基本語彙(1) —語数と語の認定の問題—	野田 時寛
中央大学の留学生に対する文章表現指導についての覚書 —レポート・小論文作成に向けての教授例—	大高 知児
留学生のための「文章表現」授業の実践報告 —レポートと作文のギャップを埋めるにはどうすればいいか—	竹内 陽子
パソコンは外国語学習の役に立つか? —マルチメディアタイプの語学学習用ソフトウェアを外国語教授法の視点から考える—	大野 雄三

◆第26号—1996年(1996年9月発行 A5版243頁)

詩人ハーディの〈時〉の意識の発展	森松 健介
ポーライナの役割 —『冬物語』を読み直す—	川地 美子
アイルランド修道院文化 —その聖と俗をめぐって—	盛 節子
ワーグナーの芸術と思想 —マイスタージンガー—	三富 明
ヴェーデキントの『カイト侯爵』について(1) —世紀末ミュンヘンのダンディズム—	荒木 詳二
東アジア味覚文化の《柔》と《剛》	武山 智
《研究ノート》 聖なる存在の近さについて —『ゲール詞華集』への覚書—	小菅 奎申
国民性論 —誕生原理の理論—	世良 正利
日本軍毒ガス作戦日誌初稿補遺 四 —一九四〇年を中心に—	斎藤 道彦